

Working Paper Summary

JICA-RI Working Paper No.70

(2014年3月刊行)

Access to Infrastructure and Human Development: A Cross-country Evidence

Jeet Bahadur Sapkota

Research Project: [ポスト 2015 における開発戦略に関する実証研究](#)

■付加価値

人間開発におけるインフラの重要性は、政策レベルで議論されてきたものの、実証的な検証を試みる研究は限られていた。そこで、本論文では、1995年から2010年まで91の途上国を対象にしたパネルデータを用いて、電気や飲み水、道路密度などのインフラ関連の変数が、人間開発指標（HDI）及び保健、教育、所得の3つの構成変数に与えるインパクトを計測した。

■リサーチ・デザイン

本論文では、1995年から2010年まで91の途上国を対象にしたパネルデータを用いて、電気や飲み水、道路密度などのインフラ関連の変数が、人間開発指標（HDI）及び保健、教育、所得の3つの構成変数に与えるインパクトを、一般化モーメント法（GMM）を用いて計測した。

■主な結論（政策的含意を含む）

分析の結果によれば、電気へのアクセス、きれいな飲み水へのアクセス、道路密度の3つのインフラ変数は、いずれもHDIに対し、統計的に有意な正のインパクトがあることが分かった。しかし、電気へのアクセスときれいな飲み水へのアクセスは、教育と保健の2つの構成指標にのみ、有意かつ正のインパクトがあった一方、道路密度は所得指標にのみ有意な正のインパクトが見られた。

これらの結果から、インフラ貧困（インフラサービスへのアクセスが欠如している状態）の撲滅こそが、持続的な人間開発への必要条件であることが明らかとなり、2015年以降の新たな開発戦略においても、インフラ貧困にかかる課題を包括的に取り組むことが重要であるといえよう。